

3. 北関東（地域別調査機関：（財）日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなる やや良くなる	一般小売店〔金物〕 （経営者）	・農作業の活動が増えてくる、下水道工事の予定が入っている等、周りに仕事の兆しがみえているので、やや上向く。
		一般レストラン（経営者）	・会社関係の需要は望めないが、家族連れ、個人の動きが良くなってきている分、上向きにつながっていく。
		通信会社（社員）	・機能が充実したカメラ付の新機種を1月末に2機種、3月に1機種発売したことにより、第三代携帯電話への移行が急激に増加し、在庫切れの状態になっている。この状態は当分続くので活気が出てくる。
		住宅販売会社（経営者）	・住宅取得時のローン控除の条件が年内入居であることから、契約を早める客が出て、やや良くなる。
	変わらない	商店街（代表者）	・通常であれば人が動き、買い回り品、最寄品などの商品販売に結びつく時期となるが、イラク情勢により、総じて変わらない。
		一般小売店〔精肉〕 （経営者）	・選挙、勤め着、入学等、いろいろ費用がかかるので、その分消費を控えている。イラク情勢の影響もあり、景気の回復はまだ見込めない。
		百貨店（販売促進担当）	・食品から衣料品まで幅広い百貨店の取扱商品の中で、売上好調な商品群が特に見当たらないほど、全体的に低調である。
		スーパー（店長）	・競合店が価格で勝負してくる状況下でも、収益を考えると価格ばかりの商売はできず、今の苦しい戦いが続く。
		スーパー（統括）	・消費者の生活防衛意識の高まりを抑える要因は見当たらない。県内の基幹産業であるIT関連のうち、DVDや携帯電話関連で一部転換はみられるものの、完全な復調はみえず、当面は横ばいである。イラク情勢の長期化は、商品原価の高騰を招き、消費意欲が減退する恐れもある。
		コンビニ（経営者）	・ベースアップも厳しい中、商品の選別も一層厳しくなる傾向にあり、それを上回るマーチャンダイジング、基本の見直しが必要である。
		コンビニ（経営者）	・イラク情勢により、石油等が値上がりするので、景気は良くない。
		コンビニ（店長）	・値引き商品に対する客の動きは、大分良くなってきている。安ければ買うということで、客の購買意欲は若干出てきており、この傾向は今後も変わらない。
		その他専門店〔携帯電話〕（営業担当）	・イラク情勢もあり、世の中が更に不安定になっているので、見通しが特に良くなることはない。
		高級レストラン（店長）	・数年間空き店舗であった大型店の撤退跡に新規店舗の出店が決まり、多少の来客数の増加は見込まれるものの、客単価の低下を補うだけで、変わらない。
		スナック（経営者）	・選挙の影響で少し下がるが、善光寺の御開帳が始まるので、人出が見込まれる。
		旅行代理店（経営者）	・買い控え、単価の安い物への移行、国内旅行へのシフトが予想され、現在と変わらない。
		タクシー運転手	・イラク情勢は、日本経済や国民にとって良い状況ではない。
		タクシー運転手	・電話が駅待ちで客を乗せているが、景気が悪くなるとタクシーの運転手は増える一方、1日の電話回数はあまり変わらないので、稼ぎは悪くなる。悪い状況は変わらない。
		ゴルフ練習場（経営者）	・イラク情勢が長引けば、今後の景気は悪くなる。
		競輪場（職員）	・4月の異動に伴う歓送迎会やGWにより、一時的に良くなっても、大きな変化は見込めない。
その他サービス〔自動車整備業〕（事務長）	・有効期間2年満了となった貨物車車検の1回目の戻り年に当たるが、台数はさほど見込めない。また、乗用車の戻り年にも当たるので、若干の入庫がある。		
やや悪くなる	商店街（代表者）	・3月にオープンしたアウトレットの真向かいに大型のショッピングセンターが4月下旬開店する。予想の売上高が両方で300億円であり、15キロ離れた当市では来客数がかなり減少する。アウトレットの影響は少なくとも、ショッピングセンターには競合店がいくつも出店するので、やや悪くなる。	
	百貨店（販売促進担当）	・イラク情勢の影響で、今後の消費は冷え込む。明るい情報がなく、景気は低迷したままである。	

		スーパー（経営者）	・イラク情勢がこのまま長引くことが懸念されているので、原油の値上がり、株価の低迷で、必要な物以外の需要は大変厳しくなる。
		スーパー（店長）	・4月末に近隣に大きなショッピングセンターがオープンするため、来店客の流れがやや悪くなる。また、イラク情勢がこのまま長引けば、商品価格にも影響が出始め、悪い方向となる。
		スーパー（経営企画担当）	・イラク情勢、業績不振の同業大手が激安チラシを出すという噂、中高年客の増加、老人の万引きの増加などから判断すると、景気はやや悪くなっている。
		コンビニ（経営者）	・イラク情勢が長期化する様子で、景気は今よりもやや悪くなる。
		衣料品専門店（販売担当）	・今年は選挙の影響で、春休み、GWであっても消費は落ち込む。来客数が減少している上に、今後郊外店が続々オープンするので、悪くなる。
		乗用車販売店（従業員）	・ベアゼロ回答の企業も多く、ますます高額車が売れなくなり、代替期間も長くなる。
		乗用車販売店（販売担当）	・この2、3か月、中古車に関しては横ばいでいくが、連日、イラク情勢が落ち着くまでは景気が悪くなると報道されている。戦争終結までは、やや悪くなる。
		自動車備品販売店（経営者）	・6月はボーナス時期であるが、ボーナス払いは縮小気味で、お金を使うことが少なくなっている。前年是最悪であり、今年も良くなる見込みはない。
		観光型ホテル（スタッフ）	・善光寺ご開帳の年であるが、7年前のご開帳と比べ、問い合わせが圧倒的に少ないので、やや悪くなる。
		旅行代理店（経営者）	・イラク情勢、東南アジアで発生した重症急性呼吸器症候群が中国を中心に世界中に広まりつつあることなどから、人が動かなくなる。特にイラク情勢が長引くと、景気は悪化する。
		タクシー運転手	・歓迎会などで4月の週末は少し動きがあるが、以後の動きは悪くなる。
		ゴルフ場（支配人）	・近県、県内の一部の冬季クローズコースが一斉にオープンする。選挙の影響や、料金の安いコースへコンペが流れていることから、GWの予約が伸びないので、やや悪くなる。
		競輪場（職員）	・イラク情勢により、経済の先行きが不安定な状況である。
		住宅販売会社（経営者）	・イラク情勢の影響を受け、ガソリンが既に値上げされており、その他石油関連商品の値上げも予想される。不安感により、消費が鈍くなり、金銭の流通が今までより悪くなる。
	悪くなる	一般小売店〔衣料〕（経営者）	・イラク情勢により、不安材料が停滞している。日本だけが良くなることはなく、景気が上向き要素は全くない。
		一般小売店〔青果〕（店長）	・イラク情勢次第だが、成り行きによっては更に悪くなる。ここ最近、行事ごとがあっても、さほど関連商品が動かなくなっているが、今回の彼岸は特にそうである。
		一般レストラン（業務担当）	・イラク情勢により、ガソリン代が値上がりしている。これをきっかけにあらゆるコストが上昇してくる一方、消費者は買控え、財布のひもが固くなる。
		都市型ホテル（経営者）	・地域の大型店が秋ごろに2軒撤退することが決まり、これでデパートは1つになる。先の見通しに明るさは全くなく、景気はますます悪くなる。
		都市型ホテル（スタッフ）	・イラク情勢の影響で、一層景気が悪くなる。特に地域の動きが鈍く、早く打破したいが難しい。
		旅行代理店（営業・管理担当）	・イラク情勢がこのまま続くと、国内、国際とも航空の需要が減少する。
		美容室（店長）	・イラク戦争が長期化することにより、石油、物価が上がると、景気は悪くなる。
企業動向関連	良くなる	輸送用機械器具製造業（総務担当）	・一部5～6月にかけて、車種のモデルチェンジがあり、前倒しの生産、売行き次第では増量生産が見込まれる。4～6月の受注量は、対前年比10%強の増加を見込んでいる。
	やや良くなる	化学工業（総務担当）	・期が変わり、海外での需要が出始めたとのことで、4月からの注文は多く入ってきている。
		一般機械器具製造業（経営者）	・自動車関連の部品は、高水準で横ばいとなり、建設機械関連部品が徐々に増加傾向にあることから、やや良くなる。
	司法書士	・4月から登記手続費用が減額されることになっており、上向き始める。	
変わらない		プラスチック製品製造業（経営者）	・変化する兆候はみえないが、今後戦争の影響がどうであるか不透明である。
		金属製品製造業（経営者）	・イラク情勢による北米の市場、景気、輸出を懸念している。

	一般機械器具製造業（生産管理担当）	・取引先各社の来期の方針説明によると、今期とほぼ同様の売上を見込んでおり、当社の受注も同様に推移する。
	金融業（経営企画担当）	・個人、法人とも資金需要がなく、とりわけ企業の設備投資資金需要の低迷が目立つ。
	新聞販売店〔広告〕（総務担当）	・関連の旅行会社では、イラク情勢、香港の重症急性呼吸器症候群等の影響で予約のキャンセルが続き、急遽国内旅行にシフトしたが、反応は鈍く期待できない。また、例年なら多い6月ごろの社員旅行がほとんどまとまっていない。
	経営コンサルタント	・業種を問わず、新年度に向けた引合いや、事業開拓の兆候はありそうだが、見極めには時間を要する。
やや悪くなる	電気機械器具製造業（経営者）	・4～6月の生産計画は主に弱含みで、売れないことを予測して生産量を控えめにしている。2割の受注減が起きている。
	輸送業（営業担当）	・今後イラク情勢が長期化すれば、原油の関係する全ての取引先が苦しくなる。
	金融業（融資担当）	・大型の消費財や家等は、金利が低いこともあって堅調に推移する。一般の消費は、イラク情勢の長期化及び4月以降の税金等の負担により沈んでいく。
	広告代理店（営業担当）	・サービス業の値下げ競争に歯止めはかからず、今後もシビアな持久戦は続く。クライアントの広告予算も減少傾向にある。
	その他サービス業〔放送〕（営業担当）	・平成15年度の年間契約コマmercialが10%近く減少する見通しである。企業の経費見直しにより、新規のコマmercialが少なく、売上、利益とも減少傾向にある。
悪くなる	食料品製造業（営業統括）	・イラク情勢の長期化が懸念されており、酒税増税も控えていることから、消費者の購買意欲が更に低下する。
	電気機械器具製造業（経営者）	・取引先の資材担当から、4月以降の受注計画は非常に厳しいと言われており、コストダウンの要請も受けていることから悪くなる。
	その他製造業〔宝石・貴金属〕（経営者）	・ジュエリーが売れるには明るいムードが必要であるが、イラク情勢を始めとして、株価の低迷、地価の低下など悪い雰囲気が多い。
	その他サービス業〔情報サービス〕（経営者）	・イラク情勢により、この数か月は投資の様子見が出てくるので厳しい。
雇用 関連	良くなる	-
	やや良くなる	-
	変わらない	-
	人材派遣会社（経営者）	・求人、求職は、単発応援程度で、現状の人数でやりくりするという動きが強い。時間単価の引き上げは困難である。
	人材派遣会社（経営者）	・前年同期と比較して、自動車、IT関連における新規派遣要請の動きが活発である。派遣料金は3～5%低下している。男性の派遣登録者、特に中高年が目立つようになっている。
	新聞社〔求人広告〕（担当者）	・イラク情勢により、変わらない。
	職業安定所（職員）	・大手企業の人員整理は一段落しているが、2月末に中小の電子部品製造会社が事業縮小を行った。不安定な国際情勢の中、先行きが不透明であり、雇用環境は引き続き厳しい。
	職業安定所（職員）	・管内の新規求人数は、前年同月比で9か月連続して増加しているが、就職者数は伸びていない。引き続き企業整理による離職が発生することや、求人内容で請負や派遣が増加していることから、求職者の滞留、増加が見込まれ、厳しい状況は変わらない。
やや悪くなる	求人情報誌製作会社（経営者）	・周辺企業に売上の伸びが全くなく、値引きや客単価の低下が目立つ。
	民間職業紹介機関（経営者）	・製造業においては、短納期、低コスト化が激しく、仕事はあっても利益につながらない企業が大変多い。中国進出を積極展開中の企業は移管のための仕事が増加し、一時的に忙しい。一段落した後の国内が、心配の種である。
	学校〔短期大学〕（就職担当）	・3月に16年3月卒業生対象の合同就職面接会が3回開催されたが、参加企業、求人数いずれも対前年比70%程度である。求人内容も専門的、技術的な分野が多く、学生が希望する事務、販売職は半減している。
悪くなる		